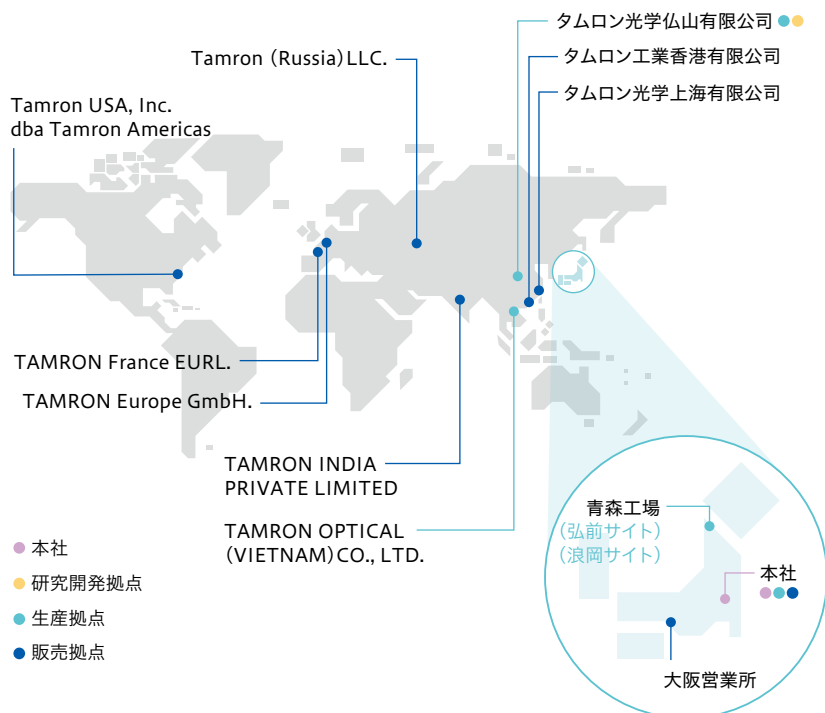


# Corporate Profile

## 株式会社タムロン 会社情報

本社所在地 〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地  
 創業・設立 創業1950年11月1日／設立1952年10月27日  
 資本金 6,923百万円  
 従業員数 連結4,604名／単体947名  
 男女比…男性社員：47%、女性社員：53%  
 国籍…アジア：78%、日本：19%、EU：2%、アメリカ：1%

## グループネットワーク



## 外部評価

マーク	名称	評価概要
	FTSE Russell FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	環境、社会、ガバナンス (ESG) の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスです。当社は構成銘柄に組み入れられています。
	2024 SOMPO アセットマネジメント SOMPOサステナビリティ・インデックス	「SOMPOサステナビリティ・インデックス」はESGに優れた約300銘柄から構成されるインデックス。当社は2012年より投資対象銘柄に選定されています。
	Morningstar Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数 (除くREIT)	確立されたジェンダー・ダイバーシティ・ポリシーが企業文化として浸透している企業、および、ジェンダーに関係なく従業員に対し平等な機会を約束している企業に重点を置いて設計されたインデックスです。当社は構成銘柄に組み入れられています。
	S&P/Dow Jones Indices 日本取引所グループ S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数	環境情報の開示状況、炭素効率性の水準に着目して、構成銘柄のウエイトを決定する指数。当社は構成銘柄に組み入れられています。
	経済産業省 健康経営優良法人 2024 (大規模法人部門)	上場会社の中から「健康経営」に優れた企業を選定し、長期的視点で企業価値向上を重視する投資家への紹介を通じ、健康経営の促進を目指す制度。当社は2020年より認定されています。
	厚生労働省 くるみん	「次世代育成支援対策推進法」に基づく認定制度において、育児休業が取得しやすい環境づくりや仕事と育児の両立支援などの項目で審査し、「子育てサポート企業」を認定する制度。当社は2015年に取得しています。
	埼玉県 彩の国工場	技術力や環境面で優れている工場を、豊かな彩の国づくりの協力者として指定する制度。当社は2007年から指定されています。
	さいたま市 リーディングエッジ企業	独創性・革新性に優れた技術を有する市内の研究開発型ものづくり企業を認証する制度。当社は2009年から認証を受けています。
	埼玉県 多様な働き方実践企業	仕事と家庭の両立を支援するため、働き方改革に取り組み、テレワークや短時間勤務など、多様な働き方を実践している企業等を埼玉県が認定する制度。当社は2014年から認定を受け、最上ランクの「プラチナ」認定を受けています。

# Shareholder information

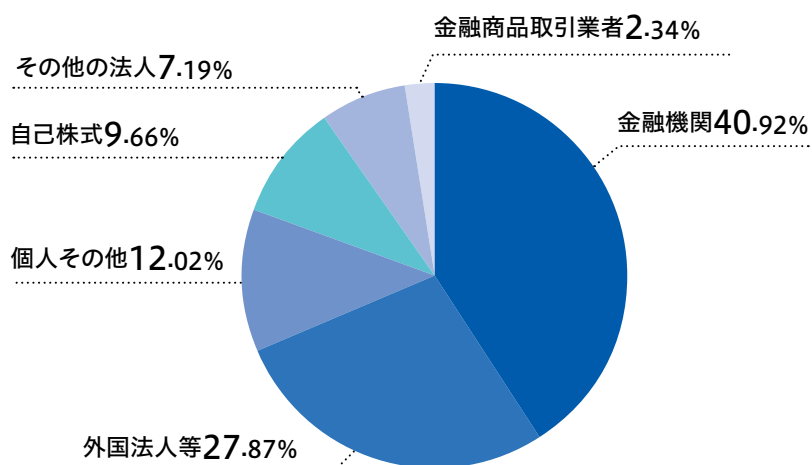
株主情報(2023年12月31日時点)

## 株式の状況

発行済株式数	23,400,000株※
単元株式数	100株
株主数	4,486名(単元未満株主除く)
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 証券コード7740
決算日	12月31日
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

※2024年5月29日付で自己株式400,000株を消却したことにともない、発行済株式総数は23,000,000株となります。

## 所有者別株式分布状況



## 大株主の状況

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
ソニーグループ株式会社	3,129	14.80
Suntera(Cayman)Limited as trustee of ECM Master Fund	2,192	10.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,945	9.20
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,684	7.96
株式会社埼玉りそな銀行	1,002	4.74
日本生命保険相互会社	670	3.16
株式会社アルゴグラフィックス	541	2.55
J Pモルガン証券株式会社	370	1.75
株式会社ナガワ	356	1.68
タムロン協力会社持株会	265	1.25

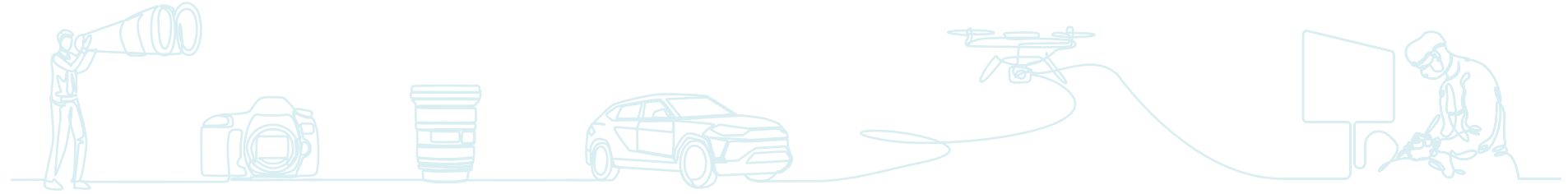
※持株比率は、発行済株式総数から自己株式(2,258千株)を控除して算出しております。

※ソニーグループ株式会社の持株数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニーグループ株式会社が指図権を留保しております。

# TAMRON HISTORY

## タムロンのあゆみ

社会とともに成長し感動と安心を創造し続けてきたタムロンの歴史を振り返ります



<p><b>1950</b> 写真機・双眼鏡 レンズの加工開始</p> 	<p><b>1957</b> 世界初 一眼レフカメラ用 マウント交換式 Tマウント開発</p>	<p><b>1966</b> レンズ原器超精密、超精密 レンズ、プリズムの生産開始</p> 	<p><b>1981</b> 6倍ズーム ビデオカメラ レンズ開発</p> 	<p><b>1986</b> 業界初 CCTV用 パリアフォーカル レンズ開発</p> 	<p><b>1992</b> 一眼レフ用高倍率 ズームレンズ AF28-200mm(71D)発売</p> 	<p><b>2006</b> 携帯電話用 レンズ販売開始</p>	<p><b>2008</b> 車載用レンズ 販売開始</p>	<p><b>2016</b> 小型カメラモジュール 販売開始</p>	<p><b>2017</b> ドローン用レンズ 販売開始</p>	<p><b>2018</b> 医療用レンズ 販売開始</p>
<p><b>1966</b> タムロン・ アダプトマチックレンズ開発</p> 		<p><b>レンズ原器</b> あらゆる光学レンズの基準となる 超高精度なレンズ。タムロンは半世 紀以上もの間、職人たちにより熟練 技術が脈々と受け継がれ、今もなお 製造できる数少ない光学メーカー です。</p>	<p><b>ビデオカメラ普及開始</b> 小型のビデオカメラの 普及に合わせて開発され たカメラ一体型VTR、 ビデオカメラ用レンズが 好調。売上構成比の5割 を占めました。</p>	<p><b>高倍率ズームの始まり</b> 「タバコの箱の大きさに」とくりと丸 めた方眼紙が原型(当時世界最小・最 軽量)。この製品を皮切りに、さらに焦 点距離の拡大、小型・軽量化、新機構搭 載を次々に実現し、現在の「高倍率ズ ームのタムロン」の地位を確立しました。</p>						